

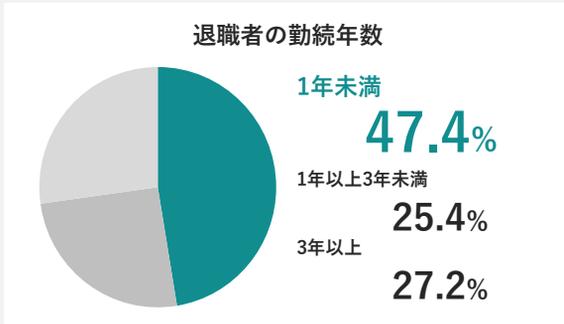
定着
支援

新人職員の早期退職を防ぐ！ 先回りサポート術

約40%が半年以内に辞めてしまう

各調査データによると多くの職員が、半年以内、1年未満の早期に退職しています。介護職に就いた人材は、最初からすぐに辞めようと思って入職したわけではありません。退職の理由を把握し、採用担当者と現場スタッフが協力してサポートすることが大切です。

▶1年未満で退職する人材が47%も

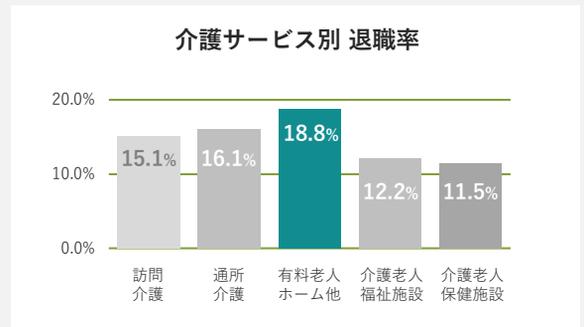
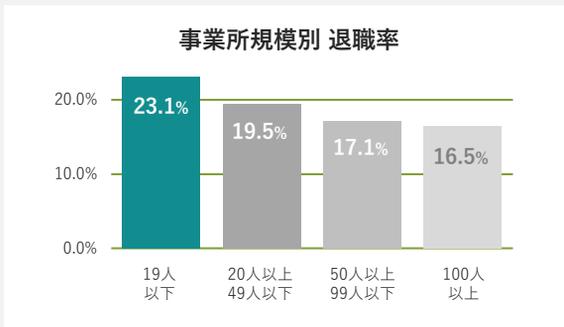


民間職業紹介事業者を経由した就職者の退職状況



[出典]令和元年医療・介護分野における職業紹介事業に関するアンケート調査(厚生労働省)

▶事業所規模が小さい方が退職率が高くなる傾向



[出典]令和2年度介護労働実態調査(公益財団法人)介護労働安定センター

早期退職が招く大きすぎる損失

せっかく採用した人材が数か月で退職してしまうと大きな損失になります。採用活動にかかった金銭的コストや採用担当者の労務コスト、教育や研修費用、指導した職員の労力がムダになります。さらに、欠員を補充するために、再びコストをかけて採用活動を行わなくてはなりません。

採用・人事担当

コスト損失

- ・手数料ほか
- ・研修費用

労力損失

- ・募集媒体選定
- ・面接、選考等

コスト増

- ・再募集費用

現場スタッフ・利用者

教育・指導

- 業務を教えた時間が無駄に

人員不足

- 急な欠員で現場が混乱

利用者様

- 入れ替わりに不安感

知っておきたい！早期退職する新人介護職員の心理とは？

■ 新人介護職員の悩みを知り、先回りサポート

特に重要なのは入職1か月～3か月の間です。新人介護職員（とくに未経験者・無資格者）の多くは、最初につまずいてしまうとすぐ退職の決断をしがちです。入職直後に直面する悩みや心理を知り、先回りしてフォローすることが大切です。3ヶ月の壁を一緒に乗り越えることができれば定着につながるでしょう。

新人介護職員が入職後に直面していること



介護業務そのもの

技術や専門知識が必要な移乗やおむつ交換ができずに悩む



心身の負担

夜勤やシフト制、女性中心の特有な人間関係による負担



教育体制の未整備

研修やマニュアルもない。最初から実務で混乱してしまう



イメージとちがった

利用者に寄り添いサポートしたかったが機械的な対応ばかり

介護技術や業務の悩みが多い

未経験者、無資格者の場合は業務の知識や業界特有の決まりごとともわかりません。当たり前のことだからと経験者と同じように接してしまうと、自信をなくしてしまうので要注意です。



未経験者で早期退職を経験

※カイゴジョブ会員のインタビューより

頭ごなしに怒られる

わからないことを聞いても、「教えたでしょ!」と怒られて何も聞けなくなりました。

体力がもたない

慣れない立ち仕事で足が棒のよう。腰も痛くなり、体力に限界を感じてしまった

初期のフォローが重要

適切なサポートがあれば退職を防げる可能性が高い

先回りサポートの基本

●教育体制の不安をサポート



(不安)

「業務を覚えることができず、このまま続けていけるのか心配。」

- ・ 独り立ち期間はなく、習得度合いで判断
- ・ マニュアルの整備、質問ができる時間を確保
- ・ 定期的にリーダーや施設長との面談を実施

●専門用語や略語などの説明



(不安)

「食介や入禁などの専門用語がわからず、まったくついていけない」

- ・ わかりやすい言葉に置き換えて指示を伝える
- ・ 専門用語や略語を使う時は説明を加える
- ・ マニュアルは略語を多用して作成しない

悩みと先回りサポートの具体例をチェックしておきましょう

新人介護職員がぶつかる壁を知ろう

介護業界の経験が長いと、業務内容や勤務体系、職場の雰囲気や独特のルールに慣れてしまいます。しかし、新人介護職員は初めての職場、新しい人間関係に直面します。あらかじめ、よくある悩みを知り、職場全体で少しずつサポートしていくことが離職防止に役立ちます。

入職後の悩み事例

経験者からすれば、些細な悩みかもしれません。しかし、小さな悩みが日々の業務で積み上がってしまうと、もう続けることができないと追い詰められ、突然の退職につながります。



▶夜勤で生活リズムが整わない

シフト勤務で家に帰る時間がバラバラになった。夜勤明けは、眠ろうと思ってもなかなか寝付けない。疲れがとれず、私だけが健康管理できていないのではと不安。

サポート事例

夜勤対策を紹介する

睡眠や食事の工夫についてベテラン職員の経験を伝える。入職後数か月は様子をみながら夜勤回数を決める。



▶利用者の名前が覚えられない

利用者の人数が多いデイサービスで名前が覚えられない。曜日によって入れ替わりもあり大苦戦。声掛けのときに名前がわからないのは失礼なので心苦しい。

サポート事例

覚え方のコツを教える

短期間に大人数の名前を暗記させるような指導はNG。メモの活用や特徴で覚える方法など具体例を教える。



▶認知症の帰宅願望にうまく対応できない

夕方になると「帰りたい」と主張され、どうなだめてもうまくいかない。誰かに助けを求めるわけにもいかず、毎回、罪悪感にさいなまれている。

サポート事例

帰宅願望の心理から教える

家に帰りたい心理には「不安」があるから。安心できる声掛けのパターンを複数教えておく。



▶食事介助中に話しかけたら、怒られた

食事介助で「お口に合いますか？」と話しかけたら、先輩から「誤嚥の原因になるからダメ」と厳しく注意された。コミュニケーションを取ってと言われたのに…

サポート事例

食事中と一括りに指示しない

声かけがNGのではなく、タイミングが重要なことを伝える。※食べ物が口にある状態のときは観察する等

マニュアルの工夫

業務の手順以外にも、よくある質問や対処法なども一緒に記載する。

相談できる環境づくり

上司や採用担当者との定期的な面談を実施。悩みを相談できる機会、サポートがあることを伝えておく。

早期退職が減れば現場の負担も軽減されます。職員に協力してもらいサポート体制を整えていきましょう！

介護・障がい福祉専門の求人サービス

掲載料

0円

料金は採用できたときだけ！無駄のない成果報酬型



多くの応募が見込める
圧倒的な求職者数

登録者数
167万人 ※1

即戦力！有資格者率
80% ※2



無駄がなく、低コスト
を実現した料金体系

低コストを実現
最安**4万円**から ※3
資格・勤務形態により異なる

人材紹介と比べ
半額以下
で採用できる可能性も！

<30職種以上の募集ができる>

介護職員(ヘルパー)、サービス提供責任者、主任ケアマネジャー、ケアマネジャー、サービス管理責任者、児童発達支援管理責任者、児童指導員、生活相談員、機能訓練指導員、その他リハビリ職、看護職員、看護助手、管理者、施設長、管理栄養士、調理師、送迎ドライバー、介護事務、福祉用具専門相談員など

掲載のお問合せ
資料請求はこちら
カイゴジョブ
運営事務局

電話またはフォームからお気軽にお問合せください。

03-4579-0045
9:00-18:00(土日祝を除く)

お問合せ
フォーム

QRコードからお問合せ



カイゴジョブ 求人広告はこちらの
Webサイトに掲載されます

介護・障害福祉の仕事を探すならカイゴジョブ
<https://www.kaigojob.com/>

💡 カイゴジョブで採用活動のお悩みを解決

▶採用コスト損失のリスクに対応

「掲載するだけで料金がかかったり、すぐに辞めてしまったら採用費用が無駄になってしまいます」

掲載無料

掲載数・期間は無制限
採用時のみ料金発生

安心の返金保証

3日以内
退職

100%
返金 ※4

▶求職者をスカウトして応募促進

「求人広告を掲載しても応募が集まらないことがあったので、心配です」

無料でスカウトメッセージが送り放題！

条件に合った求職者や貴社に興味のある求職者に直接メッセージを送信できます。待つだけでなく、攻めの採用で応募を集めます。

▶簡単な手続きで掲載スタート

「忙しくて求人広告の作成をしている時間がありません」

手間のかかる求人広告の作成は不要！

経験豊富な弊社スタッフが代行作成するのでおまかせください。写真の掲載もOK！求人広告は掲載後にインターネット上で編集ができます。

※1 会員数：2023年1月時点 ※2 有資格者：全応募者中の割合、2022年10月時点 ※3 新規ご契約のお客様且つ2023年3月31日応募分までの料金：(無資格)非常勤4万円、常勤8万円(初任者研修)非常勤6万円 常勤12万円(実務者)非常勤7.5万円、常勤15万円(介護福祉士)非常勤10万円、常勤20万円、他の職種は担当にお尋ねください。
※4 入職後3日以内に退職で100%、4日以上14日以内に退職で70%、15日以上30日以内に退職で50%返金します。

【会社概要】

●会社名：株式会社エス・エム・エス ●東京証券取引所プライム市場(証券コード:2175) ●設立：2003年 4月4日 ●資本金：23億1,022万円
●連結社員数：3,303人、単体2,109人(2022年3月31日時点) ●本社：(東京)、国内関連会社:7社、海外関連会社:アジア・オセアニア16の国と地域 ●主な顧客：(事業者領域)病院、クリニック、介護施設、医療系学校、製薬会社など(従事者領域) 看護師、PT/OT、ケアマネジャーなどの医療介護系従事者(エンドユーザ)患者、高齢者、介護をするご家族など